

新撰

江戸砂子

三

卷之三

湯嶋

本江

上野境内

谷中

根津

三浦

日暮里

駒込

深井

西ヶ原

王子

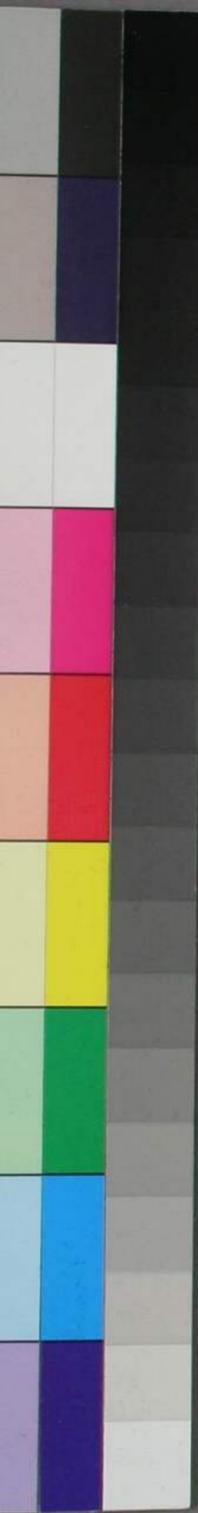
小石川

大塚

巣鴨

板橋

ル4
3228
3



凡4
3228
3

江戸砂子温故名跡誌卷之三

沾涼纂緝



豊島郡坂田領

八 湯島 本江 上野境内

九 谷中 根津 三崎 日暮里 二河嶋

十 駒込 漆井 西ヶ原 平塚 王子

十一 小石川 白山 大塚 巢鴨 板橋

江戸砂子温

柴三子

西ヶ原

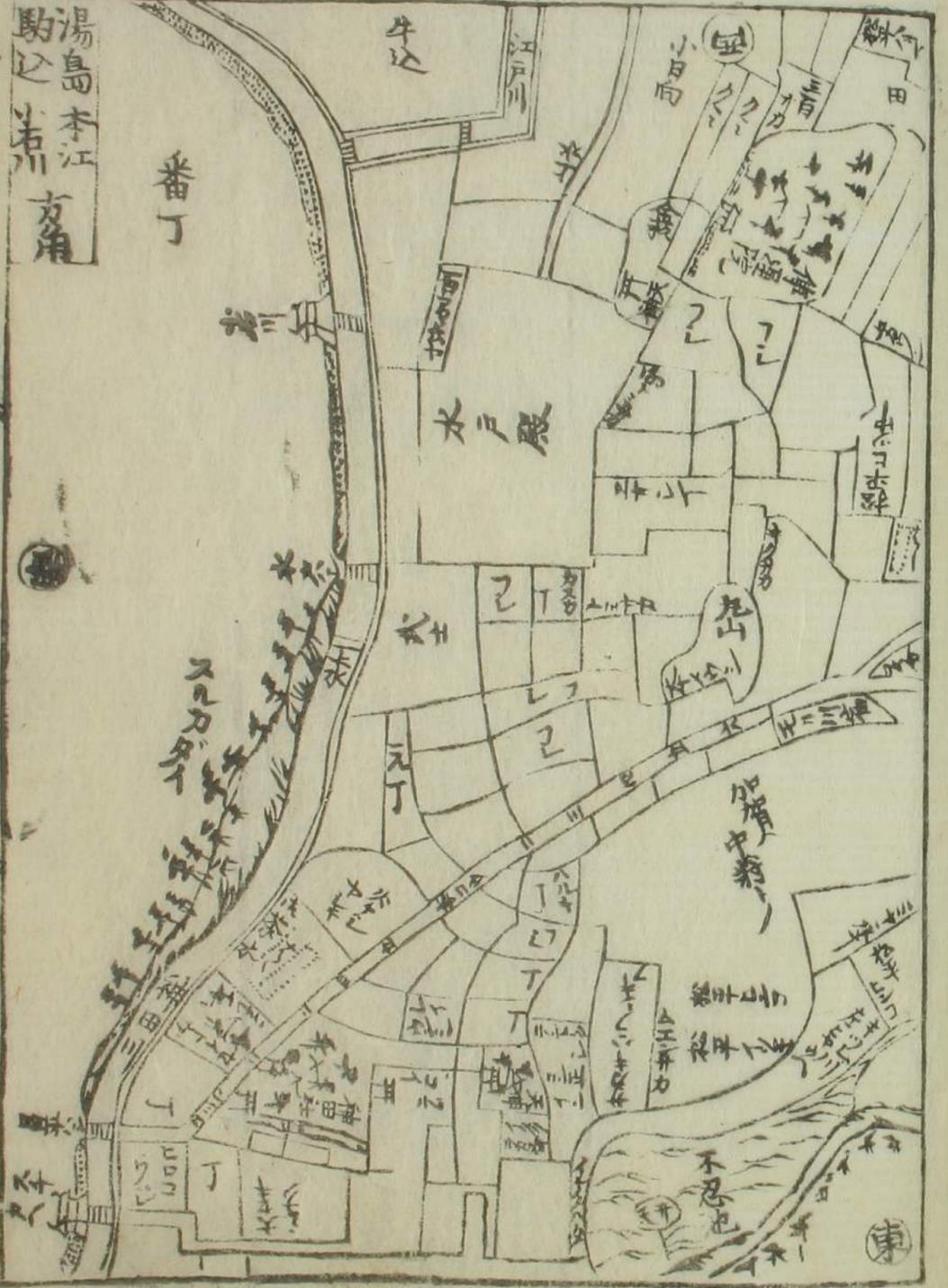
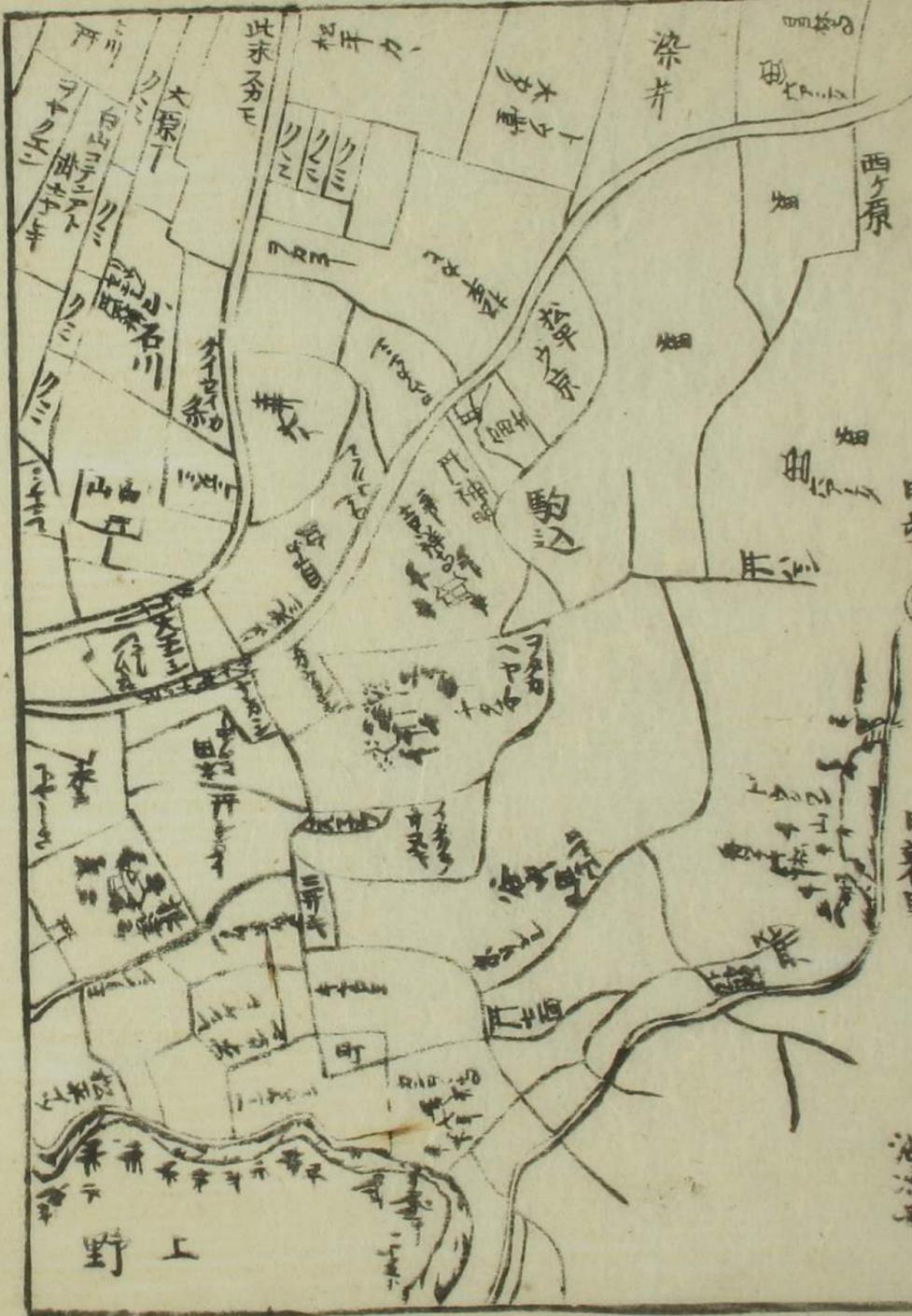
田

田端

水

日暮里

池原



湯島本江
方角

番丁

牛込

水戸殿

山

加賀中務

東

八 湯嶋 本江 上野

○聖堂

湯嶋 領主者

儒宗林家乃持

文宣王を崇む 其意最止の月今の山王の位あり元祿四年
辛未八月廿一日尚ありし。

額 仰高 入徳門 杏壇 持明院基跡所の事

大成殿の元祿頃 大樹が震駭し之

釋奠 二月上丁日孔子并十哲を祭る。和漢三才圖會云唐高祖

武徳七年二月下巳始教興行本朝文武天皇大室元年

二月丁巳始教興行孔子廟中古新絶而尾陽義直卿林

道春於上野別莊寛永十年建聖堂卿自書先聖殿三大

宇以爲額此聖堂類火以後無之元祿年中御造營

遷于湯嶋ハ松月菴隨流書に云林松茂羅羅山子道春先生ハ

系於ゆ産りて北内山惺窩先生の門人なり實學徳行道義の情

學天下の儒宗し其編春齋先生父子ハ本朝通鑑を畫

○神田社

湯嶋

社領三十石

南京橋

産土神

祭神 大己貴命 平親王靈 二座

東大川

神田湯嶋下谷小川町

社家傳説云人皇四十五代聖武天皇天平二庚午鎮座

佐古ハ神田とて一ヶ箇ニテ亦ニテハハ湯田ありて左神宮ハ

初穂の神徳を收じ湯田ハ豊後郡是隣村あり大己貴命ハ

五穀の神なり其亦多ク此神を祭る高皇皇孫神田村

ハ云あり亦もその勢ひなり人々將門の靈を祭る事ハ人皇六十二

代末代帝天慶三庶子二月十四日平自盛矢中柳り友京東御湯

之の濱拾門の弟御厨屋三郎平將頼武列多廢郡中野の末に

出張一秀つの子友京の子晴とたり將頼利なくして天慶三年

七月七日は河越におのろく千晴とあり死す中野の古茂藤子との

猛氣ハ湯の人民をころしむる事あり延文の頃一遍上人代

真教坊爲新越河の河村民此を憐れその堂の長を爲お門

乃其を相殿すまつて神田大明神二座と爲りて草菴を

立こ芝崎の湯嶋ハ是湯草神田山日輪寺なり

芝清村の今の神田橋の色なり社の旧地今酒井家の中へあり
今もあつて祭礼の初めはあつたといふに神輿をさし奉納す
るの神祇の芝清一氏も此在りし元和二丙辰尚あり
奉納 神輿の香のまきまきとむくまき
古涼

祭礼九月十五日隔年の大祭ありし神事祭 祭礼年々
四座あり 勅の南都新の徳の准江戸中橋浦割あり
牛頭天王 二社あり 當社の地主
大徳馬町御旅 五日御生 八日遷奠
毎年六月神事

南徳馬町御旅 七日御生 曹遷奠 小船町御旅 十日御生 十二日遷奠
住吉大明神 石の手水鉢をうけし住吉の石の御生
人丸大明神 古来の社あり 神事祭ありし
扱白木所長寺の寺 此阿波所の住吉奉納三百所の其一
宗派は所奉敬の神事宗事ありし住吉園上野飯東言三所屬一内
三院の住吉を治涼と又なり此靈徳寺屋ありしと云て奉納す

影うつとふいと新樹乃高角山 菊田治涼
硯より石見の出く胡清も 同苗布仙
涼一さやほのくの帆ハ松の肩 同苗梅五
社再興乃連各奉納
六の社乃忍ほくまや白牡丹 早田川末石
帆かすの海や後りや社乃破 笠井魚路
志すのの河一塵し 花知本 中島音武
神詠ハく光くま 本くま 北尾千洗
社より井一本立り浮く 神事祭ありし 河津玉風
時とくや 志とくま 神事祭ありし 北丸倫仙
くま 志とくま 神事祭ありし 小森留之
みま 志とくま 神事祭ありし 若田涼之
ゆま 志とくま 神事祭ありし 久米田智朝
似ま 志とくま 神事祭ありし 栗本雪朝
時より唯今在りしと云く 川勝文岳

江戸府名所志

○門跡の井 昌平橋の小流し北不流す門跡の善地也後
松平加賀守直中一とて流し今い度少流す也其流し世に
かたや一とて流す

○陸奥寺の善地 日本 谷中陸奥寺の善地也其地は
神主村本内記

○妻恋橋荷社 湯治 神主村本内記

祭神 日本武尊 立花姫 倉稻魂命 三座

日本武尊の東夷征伐に陣の時高木務又の妻の武具を藏の豊
湯治に其を託す事あり東海にひらき世に書さるる事あり
是事その神伝より吾妻とてその元からとて當社の神を妻と
日本武尊の妻といふ礼姫 翁命いすからとて倉稻魂命といふ
武人云高木に物出蓮光寺の善地なり也社に古の境也以あり
蓮光寺の物出へりるの節一福がひて高木に此地を託す事あり
其地よりりく蓮光寺の善地の翁命を境也に善地あり
紫一本云むしー小山太良河童原の關司信太小山太良河童原
とてと流し一い事と信太といふ事かて小とて流す事あり其地

△王子の橋荷八国八列の司なりとて信太小山太良河童原

町佐吉原と云ふ事ありとて流す事あり其地は

病人の善地なりとて流す事あり其地は

八国東の司なり 毒虫の橋荷八国八列の司なりとて流す事あり

○毒虫坂 中一乃のす人の坂し又大超坂とて流す事あり

○毒虫橋 坂下の小とて流す事あり

ひしー小の刺信信を坐事ありとて流す事あり其地は

とて流す事あり其地は

○毒虫臺 中一乃のす人の坂し

○橋荷社 つまらぬ事の下 天台 法性院

世俗元毒虫とて未詳い事あり其地は

まらぬ事あり其地は

○中坂 中一乃のす人の坂し

○湯島天満宮 俗名 社願者 蘇末 別名北野山喜見院

小野宮御清神社考 天穗日命十有四世孫野見宿禰賜土師姓光仁天皇天應元年野見宿禰之後遠江介二師宿禰古人數位土師宿禰道長奏讀依其所居地名改二師宿禰原姓古人子清公其子是善其子道真右大臣是則天神也又云天慶三年七月菅靈託右京七條坊婢支子道真據右近馬場天曆元年發立祠于北野九年三月訖近江國比良社祿宜良種日大内北野一夜生於千本其所建社以可崇天満天神△天徳四年九月廿二日唐申の夜内裏回廊也圓融院の所より及く改管工匠片を運一動も新色一色のみ以虫天井の裏板を喰うくみりて

此のこころもや少人ぞうらむひ終はるまゝあはれりん
茲よりく神怒れある事をもて北野宮を嘗てそのら
掌りす名もくまると一條院正暦四年九月寧麻安樂寺
初使を遣へて太政大臣正一位を賜ふ所と神託

肯為北關被悲士
生恨死歡其我奈

今作西都雪恥屍
從今望足護皇基

諸社覽太田通灌抄資北野の殿あり河文明十年六月城
中よりあつて菅菟相の祠を去り同年の秋通灌一室を
菅菟相の菟相の接尾する所の聖蹟式人車造りてあり
菅菟相の菟相の画像を献て靈夢とて可憐なりとて
城下の小の畔よりあつて菅菟相の祠堂を建て敷十頃
梅の花數百株を栽菟相紀行志のまゝの菟相の油燈
古ねるるよめりて志めりしにむし一燈の遠望を
是は小野の法師とすべし
つらんせよ東風吹びる都を去り去るの社の標り
其處は所の北よりあつて河文明十九年の春なり尚社建
立十年より後の事なり
△當社の地主は戸隠大明神なりと云未社ゆかりの
ヤルあり

風土記 湯嶋神社

神貢百束三毛四字田

雄略天皇御宇二年癸丑八月自官祭所手刀雄神也

多まをいふ社の世主と云ふる古案をうらむるの事なり

祭日 二月十日 十月十日 正月十日 正月十日 正月十日

二月十日 正月十日 正月十日 正月十日 正月十日

正月十日 正月十日 正月十日 正月十日 正月十日

正月十日 正月十日 正月十日 正月十日 正月十日

湯嶋十景内 題 菅祠雪松

羅山道春

菅祠寺朝儒者宗 東南亦是詠靈蹤
六花恰似飛梅影 千歲先寒一夜松

題 全

松永昌三

菅祠廟倚松 西一府東都自在來
一 夜 龍 風 枝 上 雪 曉 天 粧 就 誤 飛 梅

○室珠弁才天 男坂乃ト

此下の池の長井 実盛 屋敷の池と云ふ

○柳の井 又沙福の井と云 男坂の中辰あり

○龍形亭の跡 太田屋階乃 惣望の亭あり一云

○向の園 松平如也も 徳永成も 園あり

むし 松平如也の 園あり 徳永成の 園あり

○夜掛松 松平如也の 園あり

松平如也の 園あり 徳永成の 園あり

○金剛宝山延壽寺根生院

真言 江戸四ヶ寺の内 寺積二百石 湯治

○宝林山大悲心院雲雲寺

真言律 関東惣本寺 寺積百石 日下

○萬昌山園満寺

真言 用山木食義高 日所

○和順山法真寺

浄土 真言 寺積百石 湯治

○常示山宝林寺

浄土 真言 寺積百石 湯治

○孤峰山表福寺

浄土 真言 寺積百石 湯治

○祝融山長泉寺

浄土 真言 寺積百石 湯治

○用山信達大和尚

法任位大邑和尚 〇等正寺 日下 未

○妙光山真善寺

法宗宗下遺業寺 〇興安寺 日下 未

○徳栄山奉妙寺

法宗宗下遺業寺 〇興安寺 日下 未

○用山日慶聖人

慶長年中 寺積百石 湯治

○寺中

親善院 寺積百石 湯治

○東叡山寛永寺圓頓院

天台 上野

用基慈眼大師

天海大僧正の沙夏 人皇百九代後水尾院寛永年中の草創比叡山延壽寺と遷

日光御門跡一品法親王

て天下泰平の御祈禱あり

△中堂

南向 高十八間 長二十五間 横十八間

額 焔燄殿

元禄の太上天皇勅筆

△回廊

額 寛永寺 後水尾院勅筆

△文殊樓

額 吉祥閣 大明院公辨法親王宸翰

△法華堂

常行堂 後廊あり世俗を憐れ堂より尾紀の

△雲水塔

三重 中堂の入り 輪藏 日下 番神社 中堂の入り

鐘楼 鐘の形は甚奇なり此塔東海に名池ありと云佛の塔

日光御宮 五重の塔あり 別當 寒松院

清水 本寺千手觀音惠心僧都の御主馬判官盛久の守佛と

山王社 心陣跡あり階下まゝありと云殿宇火災焼くも

大佛 唐相丈六 びりいぬ堂と云ひ中堂は建立

時乃鐘 大佛の音 此鐘の音の興へるをいふにまゝ此の

大石焼籠 大佛のうらる所ありの内にあり

大般若 法水の堂ありと云井の塔ありと云これ

秋色松 寒松院の葉のたけし冬枯未だ

緋の衣 又宮様紅 如牡丹し所本坊の湯屋 是あり世々希

大石焼籠 大佛のうらる所ありの内にあり

大般若 法水の堂ありと云井の塔ありと云これ

秋色松 寒松院の葉のたけし冬枯未だ

緋の衣 又宮様紅 如牡丹し所本坊の湯屋 是あり世々希

大石焼籠 大佛のうらる所ありの内にあり

大般若 法水の堂ありと云井の塔ありと云これ

秋色松 寒松院の葉のたけし冬枯未だ

緋の衣 又宮様紅 如牡丹し所本坊の湯屋 是あり世々希

大石焼籠 大佛のうらる所ありの内にあり

大般若 法水の堂ありと云井の塔ありと云これ

秋色松 寒松院の葉のたけし冬枯未だ

緋の衣 又宮様紅 如牡丹し所本坊の湯屋 是あり世々希

大石焼籠 大佛のうらる所ありの内にあり

大般若 法水の堂ありと云井の塔ありと云これ

秋色松 寒松院の葉のたけし冬枯未だ

緋の衣 又宮様紅 如牡丹し所本坊の湯屋 是あり世々希

大石焼籠 大佛のうらる所ありの内にあり

大般若 法水の堂ありと云井の塔ありと云これ

忍岡編荷社

世格七編荷と云

別当奉光院

慈眼大師 為心をひきこみあはれんまありのめなり人のしも
 志きくまことあふの統途をうしあひ致して大師の言神
 にほくさ事教後まかふりく慈の徳をあらへし
 仰りそのうへに中一をさそ編荷を勸法し路をさし
 又老因及灌の建まらふ況もあり神木の獲なりとも
 △臂懸接 古麻音 上せまのふまのありし編荷あり其末之
 びり式員男掛く臂うけて思ふ女を待てるすしと云
 今たつめらるる掛格なりと菴主の問へる亦も其大授
 又七中も成人の云社のまじ垣の如く様を遠る核ありをなん
 △相生松 吉福園の東のまの松末の何もあり 古書曰本より一尺
 ありとせ左太のつのはく女松男松なりと云今ハ軒柱のつて
 大本と減り六七間入つた太女つてまじりし女松の松の葉見か
 △吉野松 屏風坂の上の古松あり慈眼大師昔を
 乃ゆらゝの苗木を植かるとし

糸掛

慈眼堂の糸掛あり古書見をみたり

△楳 江都一之の糸掛あり山王の山口より上りて
 中堂のまじりてしりていひ言ひての松よりみたり
 尺こいせは中よりまじりていひ言ひての松よりみたり

乃ゆらゝの松ありと云の松も暮にさへてす也なり
 上を下へいひと云乃ゆらゝの松

あふの糸掛ありと云の松も暮にさへてす也なり
 糸のまじりけりも松もゆらゝの松 芭蕉

△日長原 中堂ありの糸掛あり
 芭蕉

谷中感應寺の中興日長と人五重の塔を建てる相見
 尾にまじりて糸掛ありと云の松もゆらゝの松
 此寺を 宮様嘆て云塔の被る後いひつてまじりて
 土尾といひ清金修を後のまじりていひありと云の松もゆらゝの松
 寺を築く宗祖日蓮の忍岡の古松の糸掛あり

清竜院
福壽院
東漸院

元光院

松林院
延壽院

○谷中口

大慈院
津梁院

勸善院

春松院

鳥伴院

勸成院

終禪院

一葉院

吉祥院

宝勝院

泉竜院

秋菴院

壽昌院

△律院

淨明院

△学寮

信子石同長慶寺
西口の禮所

△黒門

表黒門

△車門

不空池下り口
穴あり

△稻荷坂

後雪院の参

△清水門

西坂

△新清水門

西坂

△谷中門

谷中へ出口

△下衆

吉福寺の墓

△下馬

外馬門をく

△車坂

吉福寺の墓

△屏風坂

法中寺の墓

△信濃坂

西坂

△下谷口南門

西坂

△下谷口北門

西坂

△坂本口

西坂

九 谷中

根津 三崎 日暮里 三河場

○根津社

神領五百石

別當 上野末 昌泉院
神主 伊波左門

祭神 素戔嗚尊 大己貴命 蛭見 三座 祭礼九月廿一日

古やらの尚社ありひの方面のくし棟の末林太田道灌の
樹ありし林ありしと太田儀中が教道宮ありしと云ふ

宝永三丙戌 寺より所建之ありし月一年十二月六日に遷りありし

此使元梅田様山下ありし

各所記ニ云當社ハ大黒神を多ありし根津トハ龍の禮に
龍ハ大黒神の祠者なりし後馬なりしと云ふ

山崎垂加日大黒ハ大己貴命ト大國主命ト大國主命
ト云ふ大己貴命の七名の其二つし

神道省録ニ曰十一月子の日大黒神
を奉りしを奉りし大黒ハ大國主命なりし神龍を奉り
し神龍ハ大國主神の奉りし切ありし事舊事紀古事記
に云ふ龍ハ十二支の中坎を以て配合と十月の子の月にある也

○龍江山妙法寺

中山末寺改

三邊

用山日如上人

信教大降の化鬼子母神安坐

現任十世日東上人

寺中

冷量院

家樹坊

寺冷坊

正善坊

春湯坊

○妙祐山宗林寺

京本園寺末寺改

用山日心上人

現任十世日通上人

寺中

螢沢

高寺院也より

○究竟山妙情寺

京本末寺

○正宗山妙行寺

徳列の末寺

○秀佳山妙因寺

法恩寺末

寺中

蓮行院

長善坊

用山香住院日如上人

現任九世日深上人

○寂照山龍谷寺

新曾の末寺

○長久山妙泉寺

京本末寺

○長真山立善寺

依智の末寺

○石岡山妙福寺

京本末寺

○松栄山福相寺

淡路末寺

○常親山安立寺

京本末寺

○長源山奉光寺

徳列の末寺

○長昌山大雄寺

皇列玉沢妙法花經寺末寺改

○長清山艱泉寺

玉沢末

○佛壽山上聖寺

玉沢末

○秀妙山大行寺

法恩寺末

○大黒山經王寺

身延末

用山香住院日感上人

現任十世日照上人

○光熙山感應寺

三間の末寺

○宝栄山本通寺

蘇波末末

○皇極山妙徳寺

五列の末寺

○瑞應山妙雲寺

身延末

○大法山一葉寺

法列の末寺

用山日谷上人

現任八世日曉

寺中

上津坊

○真言宗佛圖

谷中

○榴橘光山長久院

深勤寺末

○蓮葉山觀音寺

旧末

○用山法印宥意 权任十世法印深海

○醫王山東漸寺

旧末

○長谷山賀納院

旧末

○本覚山宝光寺

旧末

○補陀山兼福寺

新修 木食義高用基

○宝塔山多宝寺

根生院末

○百觀音堂 新修 木食義高用基

○佛到山西光寺

旧勤寺末

○禅宗佛圖

谷中

○望湖山玉林寺

寺順二一石八寸

吉祥寺末

○文通山長安寺

伏摩海保果

○楞伽山天服寺

妙心寺末

○海雲山天竺院

旧末

○祝融山理松寺

旧末

○高福山永久寺

士林寺末

○龜嶽山隆江寺

大住寺末

○福聚山海藏寺

海蔵寺末

○清徳山共禪寺

中法無形寺末

○大輪の橋あり大寺 寺観あり

十 駒込 染井 西京 田畑 平塚 王子

○駒込 日本武多の元より味方の勢を治定しし故も治定より

○富士山 別當富光山瑞泉院真光寺 天台 曇華 五十四日

○藤原藤原列と河川 神名帳 駿河國富士郡淺間神社

○藤原花開耶麻一名藤原津麻大山祇二女也

○藤原花開耶麻一名藤原津麻大山祇二女也

○藤原花開耶麻一名藤原津麻大山祇二女也

○藤原花開耶麻一名藤原津麻大山祇二女也

江戸府志

三

十一

○王子神社

王子村

寺に二百石

真言古儀

別為禪夷東光院金輪寺

熊野三所梅清

神名振

紀伊國牟婁郡熊野早王神社

又一王子、天照太神、才一の王子なる事あり是れを

文龜元年尚社建之 寛永十一甲戌 歳令以より湯邊宮あり

此所儒宗羅浮子當社に記をかきてはゆふ納む

毎年七月十三日奉祀あり于時寺中十二坊よりおきし

足徳聖多れに〜〜〜〜〜

神代卷 土俗祭此神之魂者花時亦以花祭又用鼓吹幡

旗歌舞而祭矣△万病妙應の五香尚流よりぬる方氏信服

に小高なる事あり子あり〜〜〜〜〜

大高に葉内を建て任職の耳に懸るも火〜〜〜〜〜

係部〜〜〜〜〜今公大高のゆ〜〜〜〜〜

とよ者入湯廣飯にな〜〜〜〜〜漢の香物を以て〜〜〜〜〜

五香よぶ末端の〜〜〜〜〜

當山ハ以都其の雪のみならず 又強瑞寺と云

○石神井川 王子村に堰あり大場のみ水なり

○握原場 王子村にあり古書にあり

○衣裳振 ○装束畑 とも子柱の葉田中あり

十二月晦日乃趣八列の狐は雨を衣裳をぬると云俗説

○王子摘荷社 金輪寺の二所あり 合持寺持

昔社八国八列 摘荷の儀なり〜〜〜〜〜

東ハケ國の狐少ありあり 狐火をともすこの火に〜〜〜〜〜

田畑の〜〜〜〜〜を下の民〜〜〜〜〜

年毎に〜〜〜〜〜一時〜〜〜〜〜

あり〜〜〜〜〜を〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜一夜〜〜〜〜〜

○淨土宗佛閣

○院山光明院新寺 知恩未 此寺の丁

○洞山具蓮社諦善上人東胤和尚江戸赤川の八慶長十五年

十二月廿六日寂す ○高寺の赤川新寺あり

一寺なり此上人任職の時友寺となりて寺の増築の事あり

ふり多天光元年回縁後此地より寺の増築の事あり

寺号ありしあり

△不動寺 大正日本月日の修なり

増築 周永院 勤修院 淨光院 眞光院 眞光院 眞光院

○身代世藏 善慶の清源院常使寺 日未 土物店

○七觀音 増上山三行院湖泉寺 増未 日未

○聖觀音 東光の定光寺 知恩未 浄土宗の番 日未

○金地山法徳院蓮光寺 知恩未 浄土宗の番 日未

西山善誓上人 寺中 天徳院 古新院 物也

○地久山天栄寺 智果 土物 ○親源の心行寺 増未 日未

○一心山の念寺 日未 日未 ○湯徳の淨心寺 日未 日未

○千年山栄松院 日未 車 ○東向の大通寺 増未 土物店

○桂芳山瑞泰寺 日未 日未 ○東極の清林寺 日未 日未

聖験の地あり ○正念寺 眞妻未 土物店

○唯憲山天然寺 眞妻未 日未 ○淨土山十方寺 深宮未 日未

○大觀音 天昌山松翁院光源寺 日未 日未 千太未

長谷の寺あり 立像一丈六尺あり 觀音千櫃佛 常念佛

貞亨のころ江戸府の町人九吉の寺あり 云若建之

○天台宗佛閣

○覚るの世の院 眞妻未 千太未 ○梵光の香林寺 上世未 千太未

○灵龜穴保福寺 日未 日未 世俗の極寺あり 門前あり

○法華宗佛閣

- 寂靜大恩寺 中宗 畠 ○大光寺津心寺 法名末 竹所
 - 三權山長元寺 身業 三ノヤ 寺中 要末院 寛平坊 宗成坊
 - 般若山法林寺 旧末 旧末 ○常陸寺 旧末
 - 美佳山法林寺 玉良末 旧末
 - 法皇山影心寺 全法 如法末 旧末 ○正住山福相寺 身業末 旧末
 - 秀誠寺 小湊末 旧末 ○十行山大乗寺 久昌末 旧末
 - 朗昌山蓮久寺 池上末 竹所 成住院
- 一向宗佛閣
- 一向山専西寺 東 池上 ○平松山教元寺 東 三ノヤ
 - 西善寺 旧 三ノヤ ○長源寺 旧 旧末
 - 西教寺 西 池上
- 此寺種の森深山に改草山集りあり

○禪宗佛閣

○諏訪山吉祥寺 曹洞宗 上列永源寺末 寺願寺名 如也

開山青岩周陽和尚

太田通灌建立し中興遠山丹波守之為寺法古今の祖國全門乃因にありびし一用名の井を築ゆる所也今この令印を為得ら其下に吉祥増上のふりありより一寺を建てることし御入烟乃初い才五世用山玄照和尚なり為寺を祇園といふことすむす代地きりする時 上意あるは城をささぐ事すむすく遠く人傳通るよりまほしき寺のありありあり

此寺の宮に玄照の言よりとるい今には城の氣を足るより

所代人の繁業一月のまほしき日を造て家名をひらぶこと重んずるは世もまほしきことなりしは

河感たふあはれ寺法を法音附き悔せしことあり

たふし明暦三年同安附家相為の時今の初めは

江城跡にあり文章を著し終令初めありと云ふ

寺中 洞泉院 宗室院 嘉藏菴 取化寮アリ

○大智山海藏寺 旧寺 伝説あり 寺願石 造

同山勝菴宗最大和尚 天文廿三月十日音寂 住持光普見明和尚

○金谷山之林寺 寺持長徳寺 寺中 無福院 土物

同山桂叢宗嫌大和尚 慶長三戌戌十月起立

○天竺の竜光寺 東邊未 土替 ○床竜山松淨寺 法後未 土未

○福壽山大林寺 寺持長徳寺 寺中 ○萬年山勝林寺 旧寺 土未

○見海山江尾寺 旧寺 寺中 ○白石山兼淨寺 旧寺 土未

○今竜山大徳寺 寺持長徳寺 寺中 ○金剛山雪通寺 旧寺 土未

○醫王山敬法寺 東邊未 竹田 ○安栄山難昌寺 寺持長徳寺 土物

寺持長徳寺 寺持長徳寺 寺持長徳寺

土 小石川 白山 大場 草鴨 板橋

○小石川と云ふ小石の多き小川 茨城もあり由合しと云ふをて 傳通院のうしろの流石とす 橋の川分小石川の澄橋と云 又白山権現の加賀園石川郡より 勧法ありと云ふ

○富坂 向富坂 富坂として二地あり 水戸の中この後 古碑子云は不常子橋の原あり 古子橋飯といふと云ふ 伝説ありと云ふ

○二ヶ谷 富坂の下乃谷し一ヶ谷二ヶ谷と云ふ 二ヶ谷し三ヶ谷 約あり 四ヶ谷ありと云

○春日及野 水戸の中この後 春目居の寺あり

○正一位辨荷社 下土ヶ野 別當大聖院

○白山神社 指谷 社願三十石 神主中井圖書

加列白山舊清 [神書] 以菊理媛為加賀白山權現

[神名帳] 加賀國石川郡白山比咩神社則又為菊理媛

又白山明神者伊弉諾尊也 尚社ハ伊弉諾尊菊理媛命

泉射道者 三所ハ元和手沖の舊清舊地ハ白山清殿の地

白山社 氷川社 女辨權現 二社をくびてありし清用記

より一河内市よりなる氷川ハ知多に在る女辨の社ハつら

んがまきーうまきん

祭礼 九月廿一日 下の産 耳もとの事し 坂仰りの馬

○指谷 寛永の年ハ所並なく事夏の産りる谷し清用

それハ所あの谷なりし清用をまきし清用をまきし

○蓮華寺 蓮華寺より清用跡ハ上坂

○多士尼坂 所長寺より清用跡ハ上坂

○五所之場 下坂間の地ハ一社を清用跡ハ上坂

○御茶園 小石川

印ハ御殿の舊地し其下沙袋が元のヤ

○紅松 沙袋を元のヤ

○野中清水 日本 ○徳割坂 日本

○初音の甲 所野中の所をまきてり 郭ののちをかり 皇族

高水の清くまきハ所なりしをまきてり

朔色の毎日 朔の音 朔の音 朔の音

○施薬所 日本 服部浴

江戸府早賦乃多の地をまきてり 長病をまきてり 江戸の事

○氷川神社 日本 吉水と宗慶寺

為社ハ今沙袋の地あり 印ハ所なりしをまきてり 皇族

らんるるる 宗慶上人 為社ハ今沙袋の地あり 印ハ所なりしをまきてり

○丹舟山東光寺 增末 平尾 ○佛法山西信寺 山形末 西尾末 二つ

○真言宗 佛閣

○醫王山真性寺 伊室末 すうと

奉之る宗師如來 聖武帝勅額 行基奉乃化し

地勢端正元法師建之唐和六世藏之三番目し謂之六龜ハ

一番 品川 真言 品川寺 二番 岩 淨土 大宗寺

三番 崇鴨 真言 真性寺 四番 岩 禪宗 東禪寺

五番 深川 淨土 吳巖寺 六番 深川 真言 永代寺

○觀明寺 又三つ 惠の末 平尾 ○東福寺 東受七宗 日未

○天台宗

○南嶽山園宗寺 上野末 元和六年 紀立 現住十世実祐法印

用山実法印 天和二年三月廿九日と云

○極常山竜泉寺 日未 小系所

天神宮 菅師河親業の畫係し右為形跡の正祐元親命迄吉乃守神々り未業修了竟しを持つて又和年中吉澤あり也

○一向宗 佛閣

○石川山善仁寺 東 松末 ○念速寺 東 小系所

○日之山彰福寺 日 什と ○寂念寺 日 日未

○安閑寺 日 日未 ○佛心山一音寺 西 小石川

○法華宗 佛閣

○本松山蓮華寺 後列連承末 小石川

岡山安立院日雄上人 天平十下支起立

地中 三三院 一丹院 伝夏坊 教成坊 玉泉坊 常寂坊

○正信山妙徳寺 道徳米島 ○成教山住持寺 山米 山川

○信弘山守会寺 聖米系河 ○長清山普心寺 大つり

○大法山本傳寺 地中 糸珠院 妙祥院 通玄院

○禪宗佛閣

○瑞鳳山祥雲寺 曹洞宗 吉祥寺末 寺依五石 山川

水鳥祀地美坊樽次、墓あり

○林元音山慈照院 慈照寺末 白山

○光國山土師運寺 慈照寺末 妙栄 寺後所

○龍室山源院 本泉大つ 白山 住持

○竹林山多福院 三原末之末 白山 住持

三之卷軸

